

開校10周年に向けて

青垣小学校 校長だより
令和7年8月号
発行責任者 植木政行

ともに伸びゆく ともに輝く ともに羽ばたく 青垣小学校

平成29年4月6日に青垣小学校開校式を行いました。丹波市教育委員会から青垣小学校へ校旗が授与され、みんなで校歌を斉唱しました。児童数は、1年生52名、2年生44名、3年生46名、4年生53名、5年生40名、6年生44名の合計279名で、新たな歴史が幕を開けました。全学年2クラスとなり、登校時には、子どもたちがわくわくしながらクラス編成を確認し、自分の靴箱を見つけしていました。



校旗授与



校歌「光る丹波の 風うけて♪」



クラス編成にわくわく！

開校式では、初代児童会副会長の畑田晴希さんがテープカットの大役を担われました。今回は、20歳になる消防士の畑田晴希さんに当時を振り返っていただきました。

人の多さにびっくり！ 増えて楽しかった！

5年生のときには、自然学校を合同で行ったり、プレ登校をしたりして、4つの小学校で交流していました。4年生では、2分の1成人式での交流もありました。そのため、初めて出会う子という関係ではなく、すっとなじみやすかったです。

ただ、人の多さにはびっくりしました。私は佐治小学校出身で、佐治は4つの小学校のなかでは一番児童数が多かったのですが、2クラスになって、1組と2組に分かれたことにわくわくしました。「増えて楽しかった！」というのが、6年生のときの思いです。先生も増えて、名前は知っているけど、しゃべったことがない先生もいました。「校舎は同じだけど、別の小学校になったな。」と感じました。



開校式でのテープカット

コンクリートの壁から木の壁へ 新校舎が建った場所は…

新しい校舎で勉強するようになったのは、5年生の2学期からです。とってもきれいな校舎で、それまでは、教室などがコンクリートの壁でしたが、木の壁になりました。登校して新校舎へ

新校舎が建った場所には、それまで花壇などがありました。虫が大好きだった私は、この場所でよく虫の観察をしていました。お気に入りの場所がなくなることをさみしく思ったこともよく覚えています。

新校舎が建つ前の花壇



すごい人数でのパフォーマンス ～運動会 応援合戦～

全校生ハッピー会 「人つながりレレー」

青垣小学校最初の卒業生として、たくさんの思い出がありますが、運動会での全校生による応援合戦は、すごい人数でのパフォーマンスになったことが強く心に残っています。友だちとの一番の思い出は、修学旅行です。また、児童会でたくさん話し合いを重ねて、『全校生ハッピー会』などの児童会行事やたてわり班活動に取り組みました。

運動会 応援合戦



メディアの取材がたくさんありました

丹波布の機織りの授業に、テレビ局の取材が入りました。開校式には、多くのメディアの方が来られていました。ちなみに、統合前の佐治小学校最後の運動会には、「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」『日本列島 ダーツの旅』のスタッフが来られ、同級生がインタビューに答えていました。



丹波布「機織り」の授業

園・小・中・高の同級生のつながりがありがたかった

私は、遠阪の「青垣町北保育園」に通っていて、年長のときに「認定こども園あおがき」が開園し、ここでも最初の卒園生になりました。青垣中学校と氷上西高校を卒業し、大人になるまで青垣地域で学ぶことができました。ひとつの地域で完結したことで、環境の変化に苦しむことがありませんでした。学校では、みんなでいろんな子と交流して、いろんな考えを得られる環境が大切だと思います。そのために園・小・中・高の同級生のつながりがありがたかったと感謝しています。また、園と各学校が連携していて、それぞれの交流もたくさんありました。



青垣中学校での体験授業

都会に出てから帰って来られるまちづくりを

私は、消防士の父と看護師の母の姿を見て、消防と看護のどちらの道も考えていました。そのなかで、国内や海外で大きな地震が起こっているニュースから、被災者を支えたいという思いを強くしました。現在は、南但消防本部朝来消防署に勤務しています。青垣に住み、父が身近にいることが大きな支えになっています。同級生の多くは進学などで都会に出ています。一旦都会に出た同級生が、青垣に帰って来ることができるまちづくりが大切だと思います。

畑田晴希さん（6年2組教室にて）

